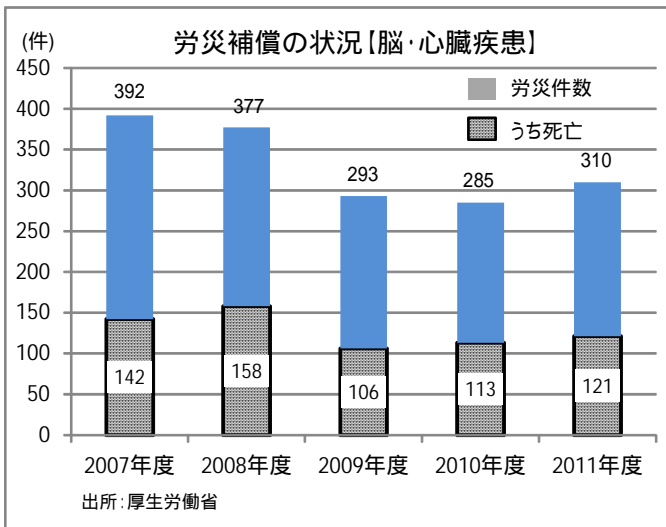
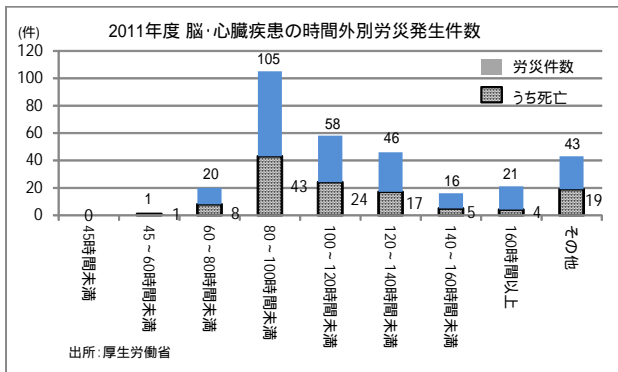


【厚労省】2011年度 脳・心臓疾患と精神障がいの労災補償認定件数

支給決定（認定）件数は昨年度比25件増の310件となり、4年ぶりに増加に転じました。また、精神障がいに関する支給決定件数も同17件増の325件で、同じく過去最多となりました。

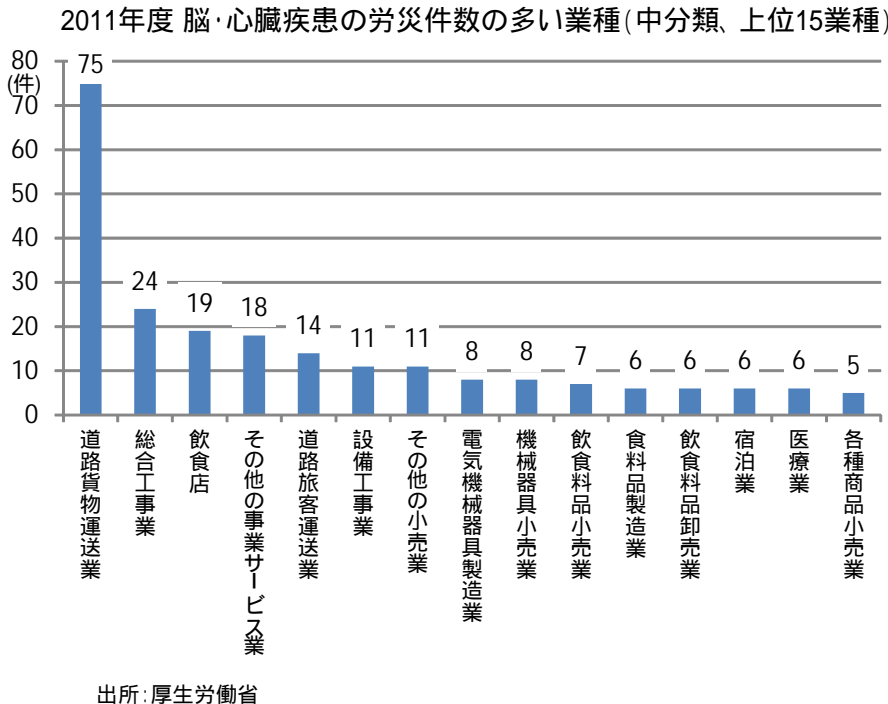


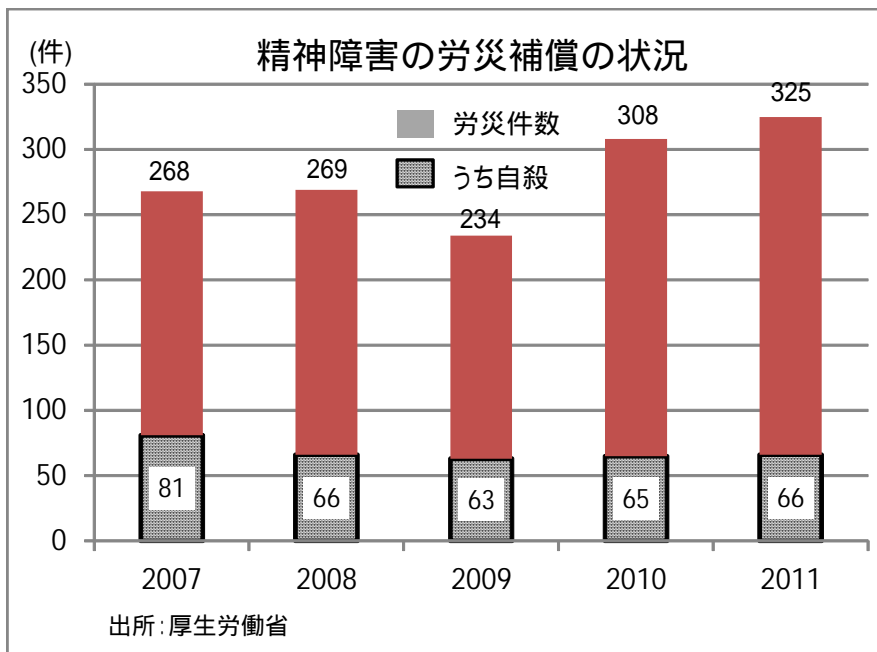
2011年度の「脳・心臓疾患」の労災請求件数は898件で、業務上と認定されたものが310件、そのうち死亡が121件でした。

右図は、産業別(日本標準産業分類「中分類」)に労災件数の多かった上位15業種をあらわしたものです。

道路貨物運送業が75件と際立っています。就業者数を考慮に入ると、2011年度の道路貨物運送業の就業者数は約140万人、電気機械器具製造業は約55万人、飲食料品小売業は約240万人です。

発生率は、それぞれ0.0052%、0.0014%、0.0003%となります。





2011年度の「精神障害」の労災請求件数は1,272件で、業務上と認定されたものが325件、そのうち未遂ふくむ自殺が66件でした。

JAMは2012-13年度の運動方針のなかで過重労働・職場におけるメンタルヘルス対策として 早期発見 治療 職場復帰の強化をあげ、労使による対策の推進やマニュアル・事例の作成を検討しています。

2011年度 精神障害の労災件数の多い業種(中分類、上位15業種)

総合工事業の労災発生率は0.0018% (就業者数約125万人)、電気機械器具製造業0.0020% (同約55万人)、金属製品製造業は0.0015% (同約60万人)、輸送用機械器具製造業は0.0009% (同約100万人)です。

